



Neb:O

NemPit G

ネムピットG

取扱説明書

保証書付き

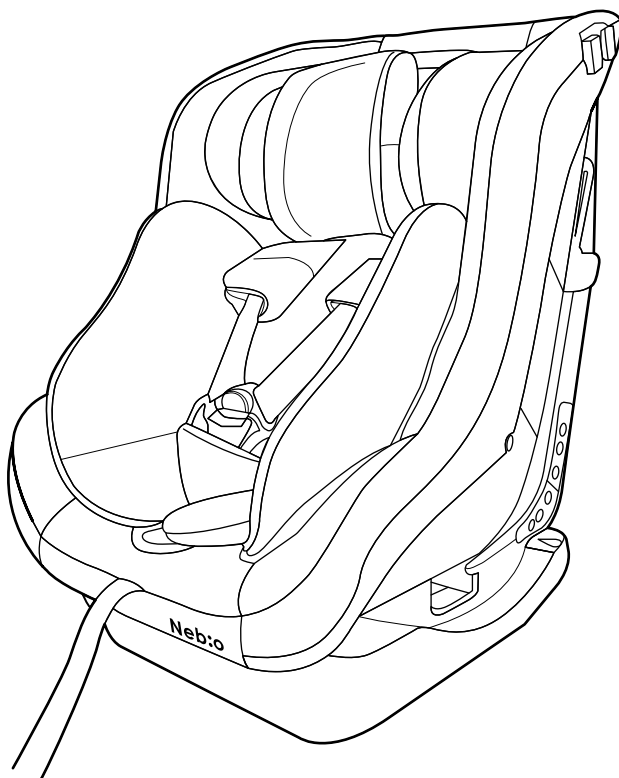
身長

40～105cm

R129/04

汎用ベルト固定式改良型幼児拘束装置

40～105cm/≦18kg



目次

■ 目次	2
■ ご使用いただく前に	4
■ 表示について	4
■ 安全にご使用いただくために	5
■ 取付けできる座席	7
■ 取付けできない座席	8
■ シートベルトの種類と確認	9
■ 梱包内容	10
■ 各部名称	11
■ チャイルドシートの移動時の持ちかた	12
■ お子さまの身長に合わせた使用方法	13
■ リクライニングの操作方法	14
■ インナークッション	15
■ インナークッションの各部の名称	15
■ インナークッションの取外し方法	16
■ 肩ベルトの調節方法	17
■ 肩ベルト・腰ベルトをゆるめる方法	17
■ 肩ベルト・腰ベルトをしめる方法	17
■ バックルの取付け・取外し方法	18
■ ヘッドレスト(肩ベルト)の高さ調節と位置の目安	19
■ 肩ベルト位置の目安	19
■ ベビーシートモード(進行方向後向き)の使用方法「身長 40 ～ 105cm まで」	20
■ 取付ける前の準備	20
■ チャイルドシートの取付け	21
■ 取付け後のチェックリスト	26
■ お子さまの乗せ方	27
■ 肩ベルトの高さ	28
■ 肩ベルト・腰ベルトの長さ調節	29
■ 走行前のチェックリスト	30
■ チャイルドシートモード(進行方向前向き)の使用方法「身長 76 ～ 105cm まで」	31
■ 取付ける前の準備	31
■ チャイルドシートの取付け	32
■ 取付け後のチェックリスト	37
■ お子さまの乗せ方	38
■ 肩ベルトの高さ	40
■ 肩ベルト・腰ベルトの長さ調節	40
■ 走行前のチェックリスト	41

■シートカバーの取外し方法	42
■シートカバーの取付け方法	45
■お手入れ方法.....	46
▪ ベビーサポート	46
▪ ヘッドサポートクッション	47
▪ バックサポート・サイドサポートクッション	48
▪ 各シートカバーの洗濯方法	49
▪ 本体	49
■製品情報	50
▪ 本体サイズ.....	50
▪ 材質	50
■保管方法	50
■破棄方法	50
■保証書.....	51

ご使用いただく前に

この度は「チャイルドシート NemPit G <ネムピット G>」をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。

お子さまの安全のため、ご使用前に必ず本書をよく読み、十分に理解の上正しく使用してください。

お読みになったあとも、取扱説明書収納ポケットで大切に保管してください。

- ・本製品はチャイルドシート基準である UN ECE R129/04 に適合しており、身長 40cm ～ 105cm くらいまで（目安：新生児～年齢 4 歳くらいまで）のお子さまを対象としたチャイルドシート「汎用ベルト固定式改良型幼児拘束装置 40～105cm/≤18kg」です。

上記身長範囲外のお子さまにはご使用いただけません。

- ・全てのお車に取付けられるものではありません。

車両メーカーが示す位置、車両の取扱説明書を参照してください。

車種適合表につきましては下記 URL から確認してください。

<http://www.nebio.jp/childseat/>

※車種適合表一覧は適宜更新しております。

チャイルドシートは、交通事故の場合に、お子さまの損害を軽減することを目的としており、必ずしも事故からお子さまを無傷で守るものではありません。また、チャイルドシートを使用するときは必ず保護者の方が同乗してください。

表示について

本書では、安全に正しくご使用いただくため、重要な事項を『危険』、『警告』、『注意』の表示にて説明しています。重要事項が守られなかった場合に予想される、危害・損害の切迫度や大きさにより区分しております。大変重要な内容となりますので、必ずお守りください。

表示	表示の内容
 危険	誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定されます。
 警告	誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定されます。
 注意	誤った取扱いをすると、人が傷害を負ったり物的損害が起こる可能性が想定されます。

安全にご使用いただくために

危険

次の事項が守られない場合、お子さまの安全が保持できず、危険にさらされるおそれがあります。

- ・エアバッグが装備された座席では、本製品を使用しないでください。衝突時、エアバッグの作動により衝撃を受け、大変危険です。
- ・使用条件に適合しないお子さまや、取付けのできない座席などでは使用しないでください。
- ・車両の座席の種類などにより、取扱説明書通りにチャイルドシートを固定できない場合は使用しないでください。
- ・お子さまがチャイルドシートの上に立ち上がったり、中腰にならないよう注意してください。
- ・ベビーシートモード・チャイルドシートモードでご使用の場合は、肩ベルトと腰ベルトが正しく装着され、左右のバックルタングが差し込まれていることを確認してください。
- ・車に取付ける際は、車両の取扱説明書および本書・本体表示に従い正しく取付けてください。
- ・車に取付ける際は必ず車両シートベルトで取付けてください。
- ・必ず肩ベルトガイド、腰ベルトガイドを使用してください。衝突事、車両シートベルトが肩から外れて危険です。

緊急時

緊急時は、保護者の方が車両シートベルトを外してすみやかにお子さまを解放し、車外に脱出させてください。

警告

次の事項が守られない場合、お子さまの安全が保持できず、危険にさらされるおそれがあります。

- ・シフトレバーやパーキングブレーキなど、操作に支障をきたす場合は、助手席へ取付けないでください。
- ・2ドアや3ドアの車両で後部座席に人が乗車する場合は、助手席へ取付けないでください。
- ・お子さまが座っていない時でも、本製品は必ずシートベルトで固定してください。ブレーキをかけた時など、車内に転がり、運転の妨げになることがあります。
- ・肩ベルト・腰ベルトがゆるんだ状態で使用しないでください。ベルトが首に巻き付いて、窒息するおそれがあります。肩ベルト・腰ベルトは正しい長さに調節してください。
- ・チャイルドシートからの落下を防ぐため、車両シートベルトの腰ベルトはお子さまの骨盤位置が確実に固定されるよう十分低い位置で装着してください。
- ・車両シートベルトに傷などがある場合は、その座席に取付けないでください。
- ・衝突事故や本製品を落下させるなど、一度でも強い衝撃を受けた場合は、外見上の破損がなくても、絶対に使用しないでください。

- ・本製品のネジやナットなどを取外して、分解や改造を行わないでください。
- ・チャイルドシートにお子さまが座った状態で運ばないでください。
- ・短時間でもお子さまを車内に1人で放置しないでください。日差しの強い日などには、車内の温度が高くなり、お子さまが脱水症状になるおそれがあります。また、予期せぬ事故の原因となります。
必ず保護者の方が同乗してください。
- ・極端な厚着や防寒具などの上から、車両シートベルトを装着しないでください。
シートベルトがゆるむ原因となります。
寒い場合は、シートベルトを装着した上から対策を行ってください。
- ・梱包用の袋などは、お子さまがかぶらないよう放置しないでください。
- ・同時に2人以上で使用しないでください。



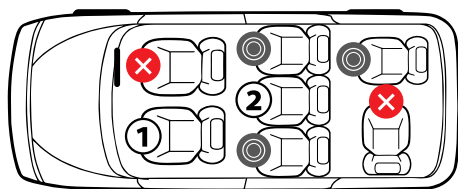
注意

次の事項が守られない場合、お子さまの安全が保持できず、危険にさらされるおそれがあります。

- ・直射日光があたると、本体が熱くなり、お子さまがやけどをするおそれがあります。日差しが強い日は、日陰に駐車するか、チャイルドシートにカバーなどをかけてください。また、お子さまを座らせる前に各部を触り、熱くないことを確認してから使用してください。
- ・走行中はチャイルドシートの操作及び調節をしないでください。また、同乗している他のお子さまがチャイルドシートに触らないよう注意してください。
- ・チャイルドシートを通常の椅子として使用すると、転倒して怪我の原因になります。
本書に記載のない使い方をしないでください。
- ・チャイルドシートを車のシート可動部や、ドアなどにはさまないよう、十分注意してください。
- ・チャイルドシートの改造や不当な修理は絶対にしないでください。
- ・お子さまだけで乗り降りはさせず、必ず保護者の方が乗せ降ろしをしてください。
- ・シートカバーなどの縫製部分を外したまま使用しないでください。
また、本製品以外のものと取替えたりしないでください(衝突時の安全性能に影響を及ぼすおそれがあります)。
- ・車両の座席に、クッションや座布団を敷いてチャイルドシートを取付けしないでください。
チャイルドシートがしっかり固定されません。
- ・座席の表皮素材(皮など)及び、形状によっては、取付けた車両の座席に傷がつくおそれがあります。
- ・チャイルドシートを雨風にさらさないでください。
- ・固定されていない物を、車内に置かないでください。急ブレーキや衝突の際に、お子さまに当たるおそれがあります。
- ・使用歴のわからない中古のチャイルドシートは絶対に使用しないでください。

取付けできる座席

- ・本製品の取付け方：前向き（進行方向）
本製品は「特定車両」に分類されており、以下の座席に取付け可能です。



- 正しい設置位置
- ✕ 誤った設置位置
- ① エアバッグが装備されていない車に設置可能
- ② 3点式シートベルトを装着している場合のみ設置可能

取付け方法	座席条件	使用
進行方向 (前向き)	前座席：エアバッグを装備していない車	取付け条件が満たされれば、取付けは可能ですが、本製品は運転席より後ろの座席に取付けることをお奨めします。 やむを得ず、前座席に取付ける場合は座席シートを一番後ろに下げた状態で取付けてください。
	前座席：エアバッグを装備している車	
	後部座席の両側の座席	取付け条件が満たされれば取付け可能です。
	後部座席の真ん中の座席	取付け条件が満たされれば取付け可能です。
	進行方向に対して横向きの座席	取付け不可
	進行方向に対して後ろ向きの座席	取付け不可



危険

3点式シートベルト以外の座席では絶対に使用しないでください。



使用可能なシートベルト

- ・ ELR 付シートベルト
- ・ ALR / ELR 付シートベルト



警告

2点式シートベルトの座席では使用できません。



警告

3点式シートベルトでお子さまを拘束してください。

本製品は、UN/ECE 規則 NO.16 に準拠している、または他同等の基準を満たしている3点式シートベルトを装備した車両に限り、使用に適しています。

シートベルトの種類により取付け方が異なったり、取付けられない場合があります。

※車種適合表は下記 URL より確認してください。

<http://www.nebio.jp/childseat/>

車種適合表一覧は適宜更新しております。

取付けできない座席



注意

下記条件のいずれか1つでもあてはまる場合は、その座席への設置・使用は不可

※下記以外の座席でも、ジュニアシートをしっかりと固定できない場合は設置・使用をしないでください。

●フロントエアバッグ装備の座席。

※サイドエアバッグのみの場合は使用可能です。

●進行方向に対して、横向きまたは後ろ向きの座席。

●座面の形状に高低差があり、取付けた際に不安定になる座席。

●極端なバケットシート。

※座面の中心部分が深く凹んでいる座席。

●シートベルトが付いていない座席。

●2点式シートベルトの座席。

●パッシブシートベルトの付いた座席。

※パッシブシートベルトとは

→車の座席に座ってドアを閉めると、自動的にシートベルトを装着してくれる装置。

●座席の凹凸が極端で、取付けた際に不安定になる座席。

●シートベルトに損傷がある座席。

●座席以外のピラーやドアなどの車両構造物に本製品が接触する座席。



ポイント より安全に使用していただくために、後部座席での使用をおすすめします。



注意

本革の座席に使用すると、取付け跡が残る場合があります。

シートベルトの種類と確認



注意

シートベルトの種類により取付けができない場合があります。シートベルトの種類は、車両の取扱説明書を確認してください。



ポイント

車種適合表につきましては下記 URL より確認してください。

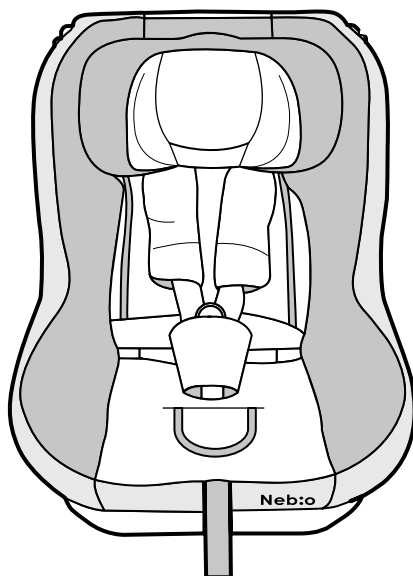
<http://www.nebio.jp/childseat/>

シートベルトの種類と特徴		取付け方法と注意事項
種類	特徴	
ELR 付シートベルト (緊急ロック式巻取装置付)	通常はシートベルトが肩側の取り付け部から自由に出し入れでき、急ブレーキや衝突などの時だけロックされます。	ゆっくりシートベルトを引き出してください。
ALR/ELR 付シートベルト (チャイルドロック機構付)	シートベルトを全て引き出すと、入る方向にしか動かなくなる機構付きです。全て巻き取るとロックが解除されます。	シートベルトの ALR 機能を作動させないでください。ベルトがゆるめられなくなり、窒息や重大な障害を受けるおそれがあります。
その他	上記特徴にあてはまらないもの	本製品は使用できません。

梱包内容

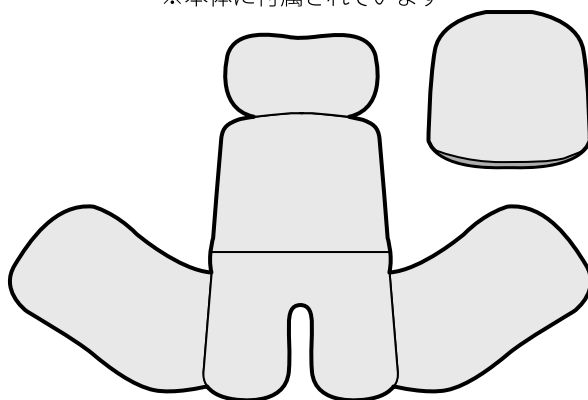
生産工程上、小さな樹脂片が本体内部に残り、傾けるとカラカラと音がする場合がありますが、使用・構造上の安全性に問題はありません。安心してご使用ください。

本体



インナークッション

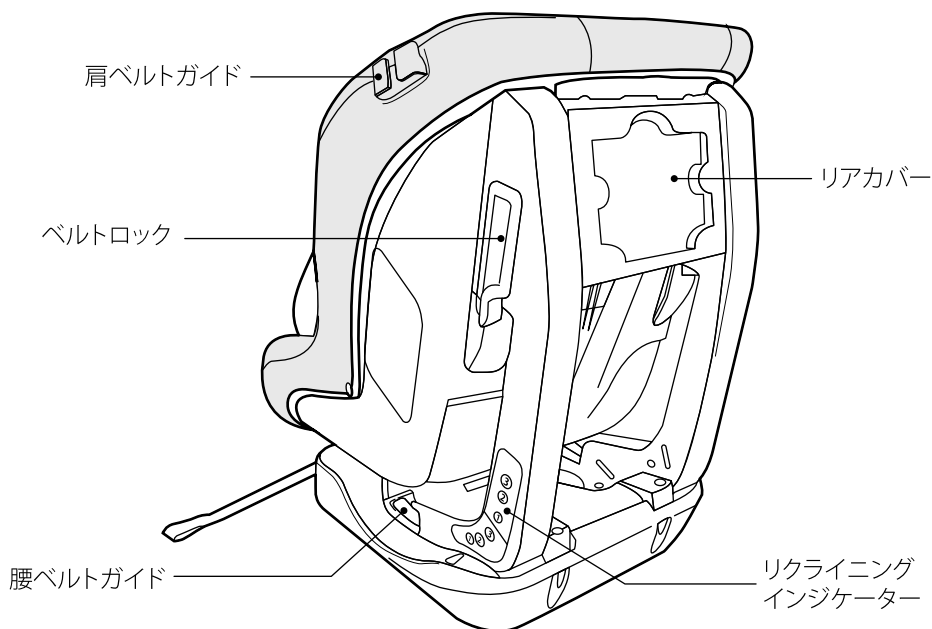
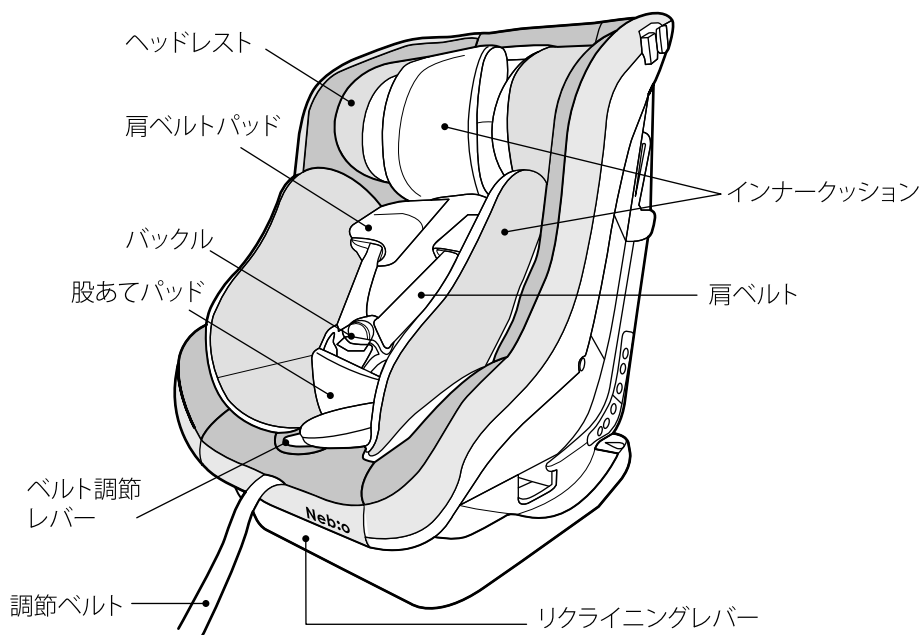
※本体に付属されています



《5点式ハーネスとは》

【肩ベルト】・【腰ベルト】・【バックル】をまとめて5点式ハーネスと呼びます。

各部の名称



チャイルドシートの移動時の持ちかた



警告

・持ち運びの際は、周囲に注意し物などにぶつからないよう注意してください。

持ち運びの際は、【サイドガード下部付近】と【ベースの後方中心部分】を持ってください。



注意

上記以外の部品を持つと、破損や落下の事故につながるおそれがあります。



警告

お子さまを乗せた状態で、持ち運ばないでください。
お子さまが落下し、重大な事故につながるおそれがあります。

お子さまの身長に合わせた使用方法

ECE R129/04 に合格

モード	ベビーシートモード	チャイルドシートモード
使用の条件	身長：40 ～ 105cm	身長：76 ～ 105cm 体重：18kg 未満 月齢：15 ヶ月以上
使用の状態		
取付け方法	シートベルト固定 + 5 点式ハーネス	
取付け方向	進行方向後向き ※身長 76cm 未満のお子さまは、必ず全てのインナークッションを使用してください。	進行方向前向き ※インナークッションは使用しないでください。
 警告 お子さまの月齢が 15 ヶ月を超え、尚且つ身長が 76cm 以上になるまでは、進行方向前向きで使用しないでください。		



危険

本製品のインナークッションは、誤った取扱いをすると本来の機能をはたさず大変危険です。
必ず本書の P15 (インナークッション) を確認し正しく使用してください。



注意

取外したインナークッションは車内に放置しないでください。
車内に転がって運転の妨げとなり、思わぬ事故につながるおそれがあります。

リクライニングの操作方法

本製品はお子さまの成長に合わせて、《前向き 3 段階》
《後向き 3 段階》で角度を調節することができます。

- ①座席前方の裏側にあるリクライニングレバーを手前に引きながらシートのリクライニング角度を調節してください。



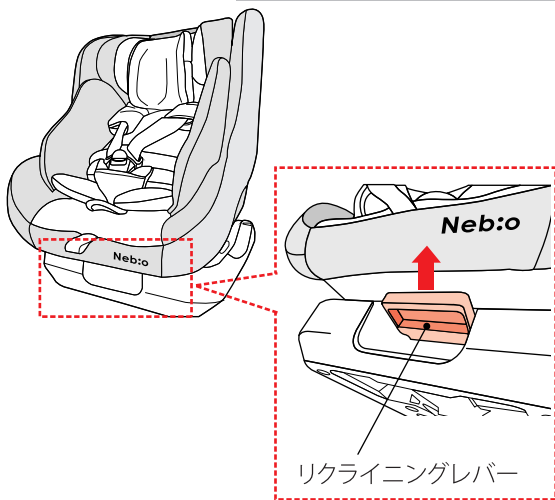
動画で解説
リクライニング
の操作方法

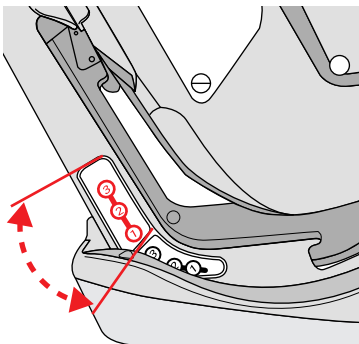
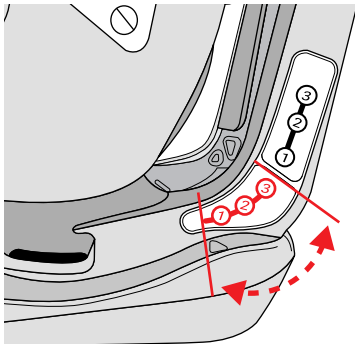
⚠ 警告

操作後、シートが固定されていることを確認してください（衝突時の安全性能に影響を与えるおそれがあります）。

⚠ 注意

- ・リクライニング操作時は、お子さまの指や手を近づけないよう十分注意してください。指や手が挟まれ、けがをするおそれがあります。また、同乗者の手元も同様に十分に注意してください。
- ・ゴミや飲食物が入ると故障の原因になります。



進行方向後向き	進行方向前向き
身長 40 ～ 105cm	身長 76 ～ 105cm
	
3 段階 (リクライニングインジケーター青)	3 段階 (リクライニングインジケーター赤)

⚠ 注意

お子さまの身長が 76cm 未満の場合は、絶対に進行方向前向きで使用しないでください。必ず【進行方向後ろ向き】で使用してください。

インナークッション



警告

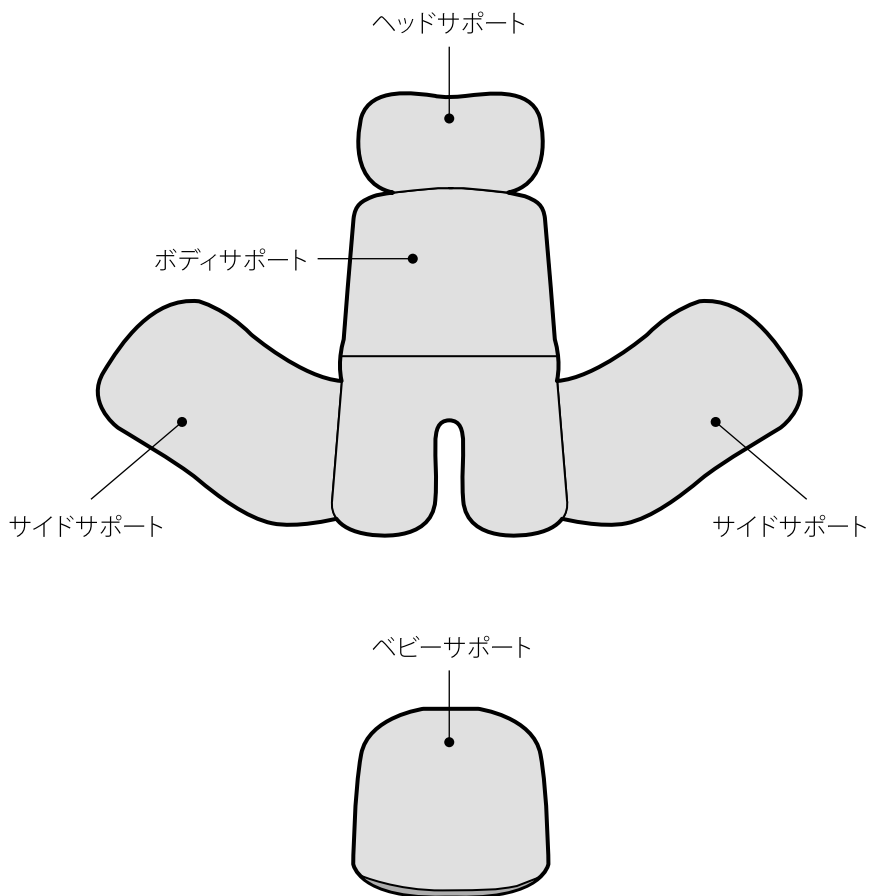
身長 76cm 未満のお子さまは、必ず全てのインナークッションを使用してください。



警告

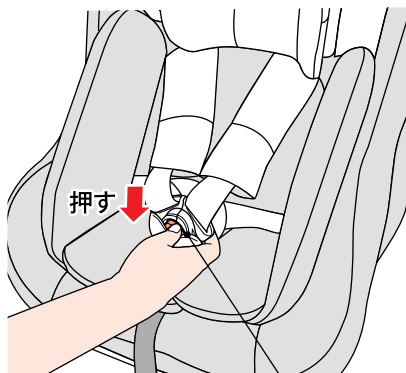
身長 76cm 以上のお子さまは、インナークッションを使用しないでください。

インナークッションの各部の名称

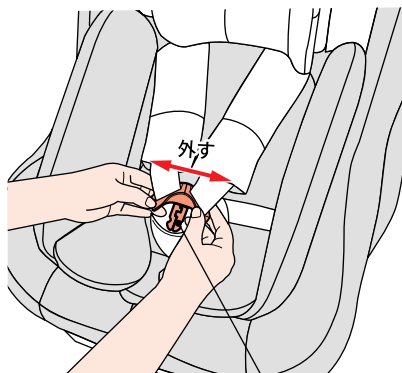


■ インナークッションの取外し方法

①バックル解除ボタン(赤)を押し、バックルタングを外します。

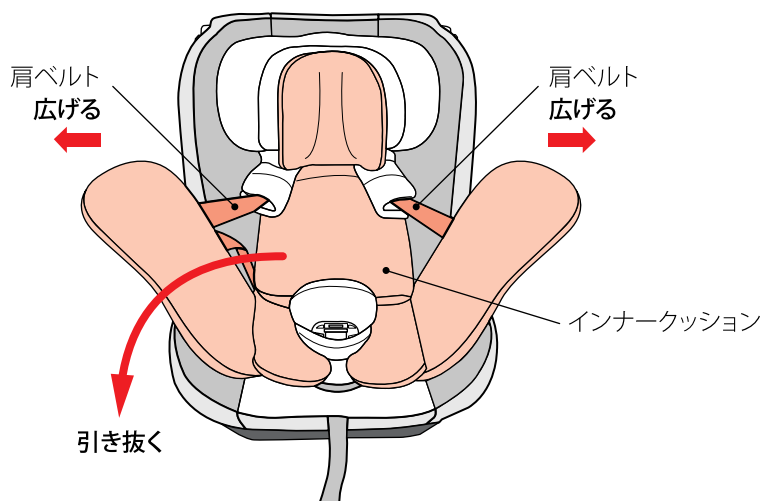


バックル解除ボタン



バックルタング

②肩ベルトを外側へ広げ、インナークッションを引き抜いてください。



肩ベルトの調節方法



警告

- かさばった服を着せたまま、使用しないでください。
- 肩ベルトと腰ベルトを正しい位置に装着してください。



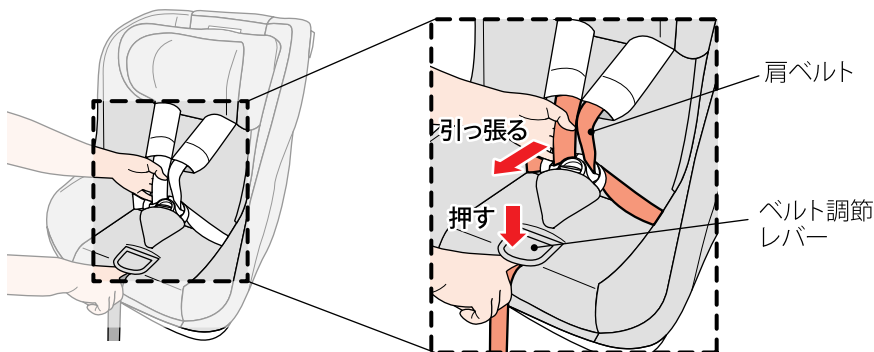
 動画で解説
肩ベルトの
調節方法



ポイント 肩ベルトパッドを引いても肩ベルトはゆるみません。

肩ベルト・腰ベルトをゆるめる方法

①ベルト調節レバーを片手で押しながら、もう片方の手で左右の肩ベルトを引っ張ります。



肩ベルト・腰ベルトをしめる方法

①肩ベルト・腰ベルトにゆるみがないか確認し、調節ベルトを引っ張ってください。

※肩ベルトと腰ベルトのゆるみは大変危険です。
お子さまと肩ベルトのすきまは、手のひらが入る程度に調節してください。



警告

- 必ず肩ベルトと腰ベルトの長さを調節してください。お子さまの体にフィットしていないと衝突時にお子さまがシートから飛び出すおそれがあります。
- 肩ベルトと腰ベルトをたるませて使用すると、ベルトが首に巻き付いて窒息するおそれがあります。

バックルの取付け・取外し方法



動画で解説
バックルの
取付け・取外し方法



ポイント

- ・バックル解除ボタン(赤)はお子さまの力でも外れないよう安全上、固くしております。
- ・バックルタングは左右、組み合わせてからバックルに差し込んでください。組み合わせないと差し込めません。

①バックル解除ボタン(赤)を押し、バックルタングを外してください。

②お子さまをチャイルドシートに深く座らせてください。

※インナークッションをご使用の際は、インナークッションにあわせてお子さまを深く座らせてください。

③お子さまの左右の腕を肩ベルトに通します。



注意

左右の肩ベルトがねじれていないことを確認してください。

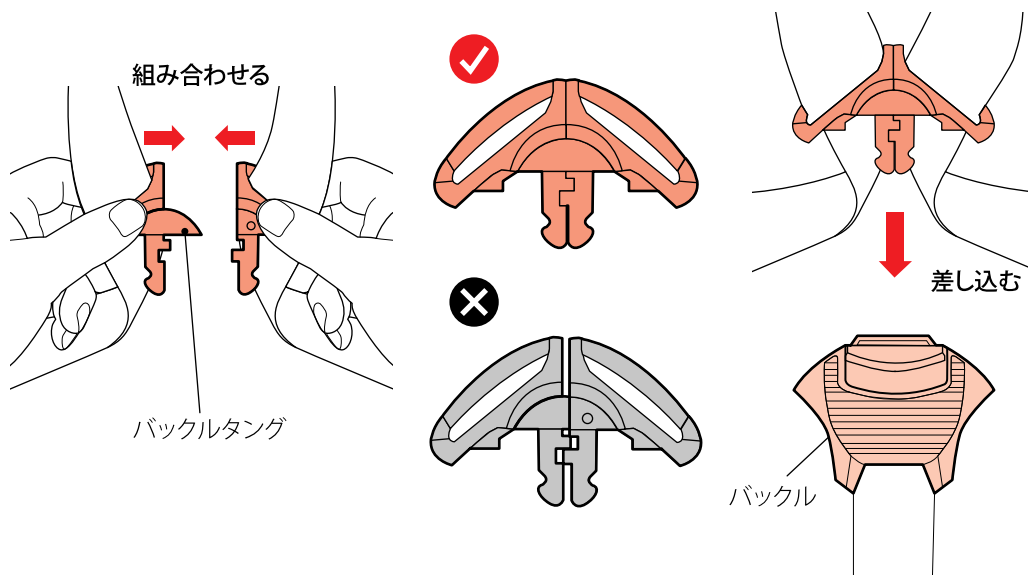
④左右のバックルタングを組み合わせてください。※組み合わせの向きにご注意ください。

⑤組み合わせてから「カチッ」と音がするまでバックルに差し込んでください。



注意

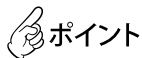
バックルタングを差し込む際、股あてパッドが挟まっていないか確認してください。



ヘッドレスト(肩ベルト)の高さ調節と位置の目安



動画で解説
ヘッドレストの
高さ調節

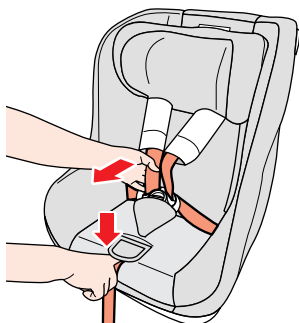


ポイント

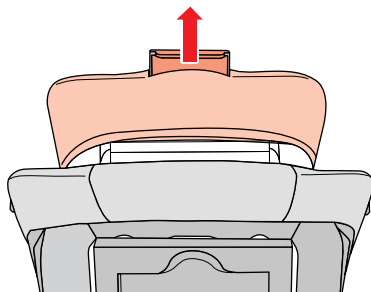
ヘッドレストの調節は肩ベルトをゆるめてから行う必要があります。
※肩ベルトの調節は、P17 を参照してください。

ヘッドレストの位置は 6 段階で調節可能です

①ヘッドレストを高くする準備として肩ベルトをゆるめてください(P17 参照)。
※肩ベルトパッドを引いても、肩ベルトはゆるみません。



②ヘッドレスト調節レバーを引き上げて肩ベルトを正しい高さに調節してください。



③適切な位置でヘッドレスト調節レバーから手を離してください。
④ヘッドレストを上下に動かし、固定されていることを確認してください。



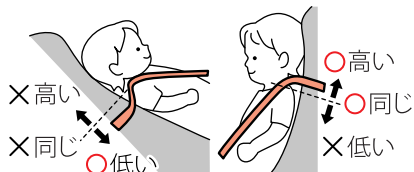
注意

ヘッドレストと肩ベルトの高さは進行方向によって異なります。肩ベルトは図 a の位置を目安に調節してください。

肩ベルト位置の目安

ヘッドレストを適切な位置に調節してください。その目安はお子さまの肩とヘッドレストのすきまに指一本くらいとなります。

図 a



ベビーシートモード(進行方向後向き)の使用方法「身長 40 ～ 105cm まで」

警告

お子さまの月齢が【15 ヶ月】を超え、尚且つ身長【76cm】以上になるまでは、必ず進行方向後向きで使用してください。



動画で解説
ベビーシートモード
の使用方法

使用条件

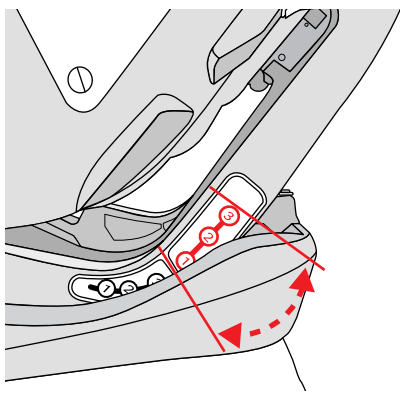
- ・ お子さまの身長が 76cm になるまでは必ず進行方向後向きで使用してください。
- ・ お子さまの体格が合えば、身長 105cm まで進行方向後向きで使用可能です。
- ・ 身長 76cm 未満のお子さまは「全てのインナークッション」を使用してください。

取付ける前の準備

- ・ リクライニング角度を後向きポジション①～③にしておきます (P14 参照)。

注意

車両座席に取付けた後にリクライニング角度を調節することはできません。
取付けがゆるみ大変危険です。
あらかじめリクライニング角度を調節してください。



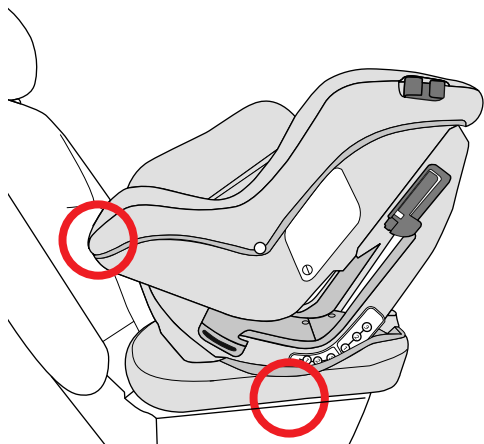
- ・ すべてのインナークッションが取り付けられているかご確認ください。

警告

・ 本製品は、必ずお車のシートに取付けてからお子さまを乗せてください。
※お子さまを乗せた状態で、お車に取付けをしないでください。お子さまが落下し、重大な事故につながるおそれがあります。
・ お子さまが座っていない時でも、本製品は必ずシートベルトで固定してください。
※車内に転がって運転の妨げとなり思わぬ事故につながるおそれがあります。

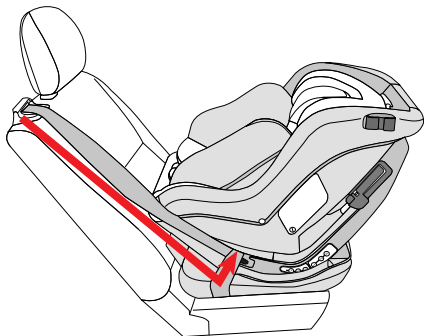
チャイルドシートの取付け

- ① 本製品を後向きにして、車両座席の中央に置きます。本製品の底面が車両座席座面に、前端が車両座席背もたれに接するようにしてください。



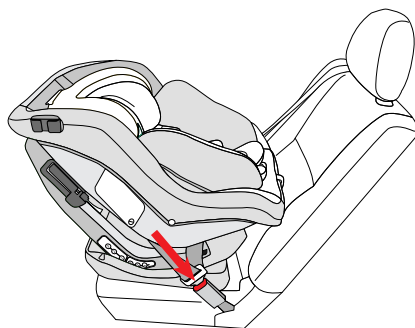
- ②-1 車両シートベルトを引き出して、本製品背面に通します。

②-1



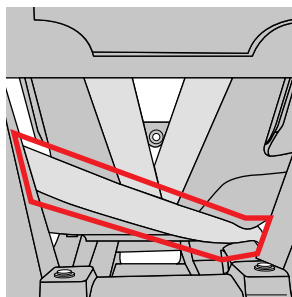
- ②-2 反対側のバックルに車両シートベルトのタングを差し込みます。

②-2



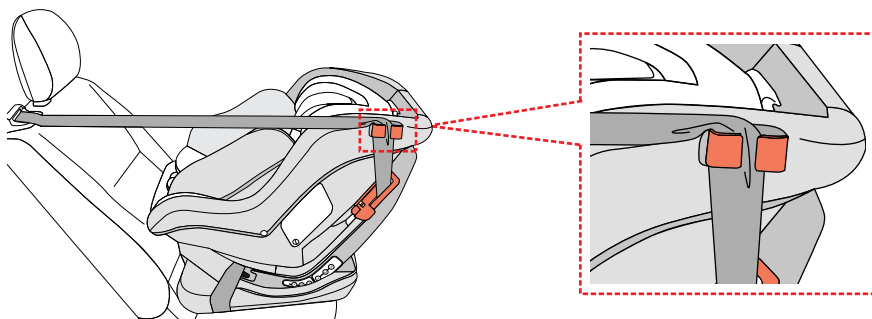
※シートベルトにねじれがない事をご確認ください。

※シートベルトタングが「カチッ」と音がするまで、確実にバックルに差し込んでください。



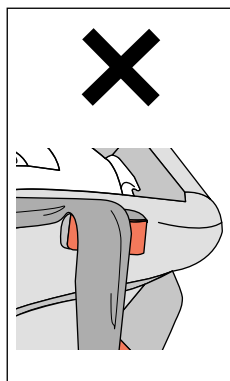
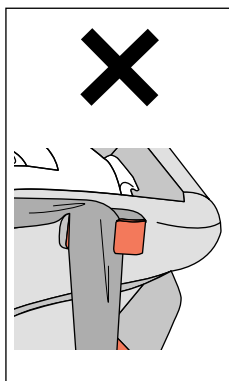
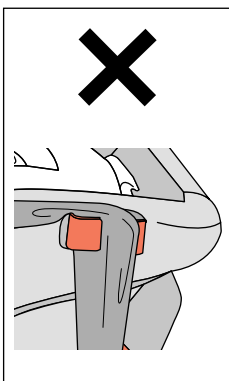
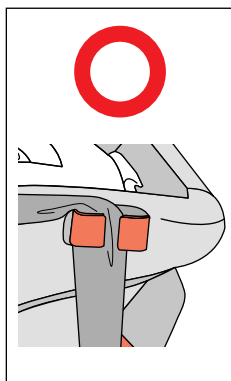
※シートベルトがハーネスの内側を通らないようにしてください。

③車両シートベルト巻取り装置側（バックルの反対側）の本製品肩ベルトガイドにシートベルトの肩ベルトを通します。

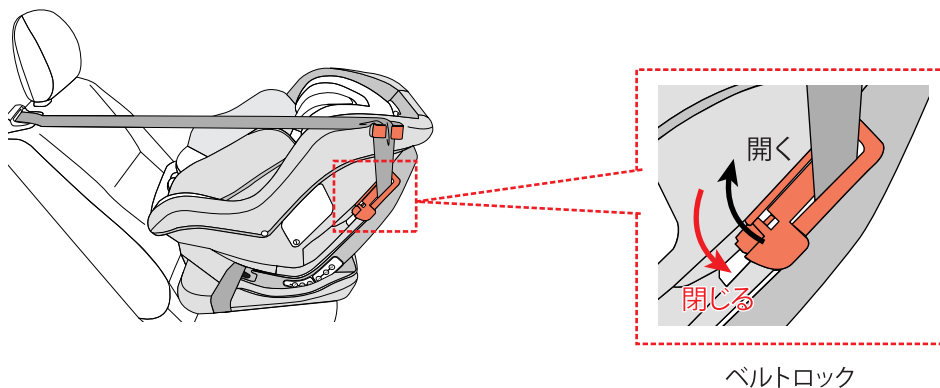


危険

肩ベルトガイドにシート肩ベルトを正しく通すこと
肩ベルトガイドに正しくシート肩ベルトが通っていないと事故や衝撃を受けた際に本製品が外れて思わぬ事故につながる恐れがあります。

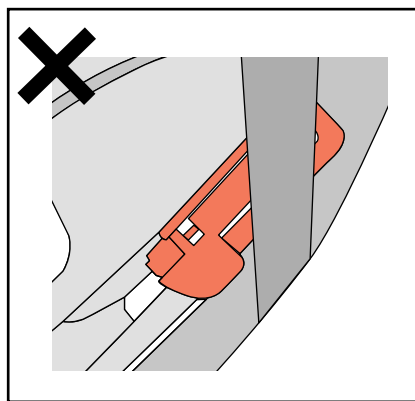
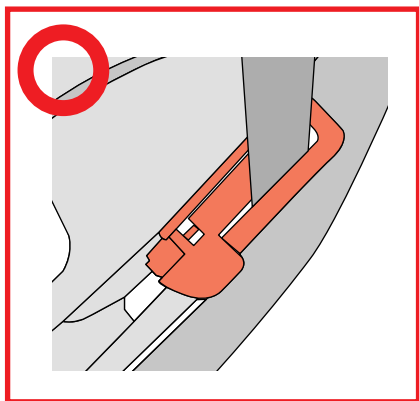


- ④肩ベルトを肩ベルトガイドに通した側のベルトロックを開き、肩ベルトを差込み、ベルトロックを閉じます。

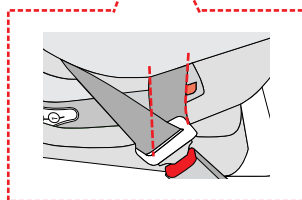
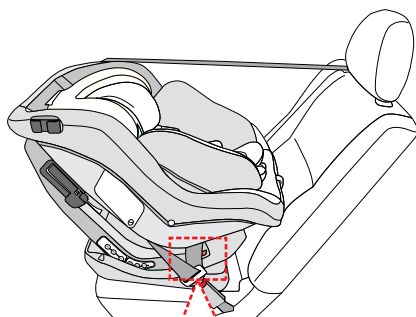
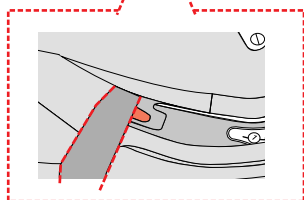
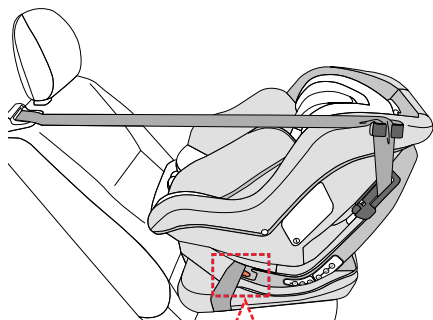


危険

肩ベルトがベルトロックに正しく通っていないと、事故や衝撃を受けた際に肩ベルトが外れて思わぬ事故に繋がるおそれがあります。
確実に肩ベルトがベルトロックを通っていることをご確認ください。



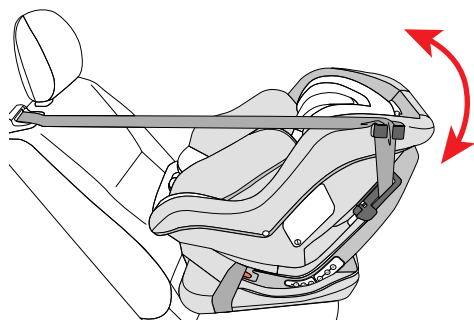
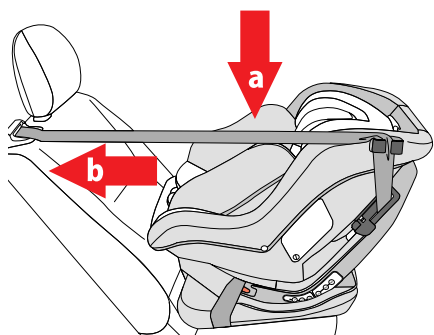
⑤シートベルトの腰ベルトが本製品の腰ベルトガイド（緑）の上を通っていることを確認してください。



⑥本製品を車両座面方向に強く押し込み (a)、肩ベルトを強く引き締め (b)、本製品を車両座席に固定します。

※ベルトロックが半開きになる場合は、(b)の後、再度ベルトロックを閉じてください。

⑦本製品を軽く揺すり、車両座席にしっかり固定されていることを確認してください。取付けがゆるいと感じた際は、さらに肩ベルトを強く引き締めてください。



警告

本製品を取付けた状態で、車両座席のリクライニングを調節したり、座席を前後に動かさないでください。取付けがゆるむおそれがあります。

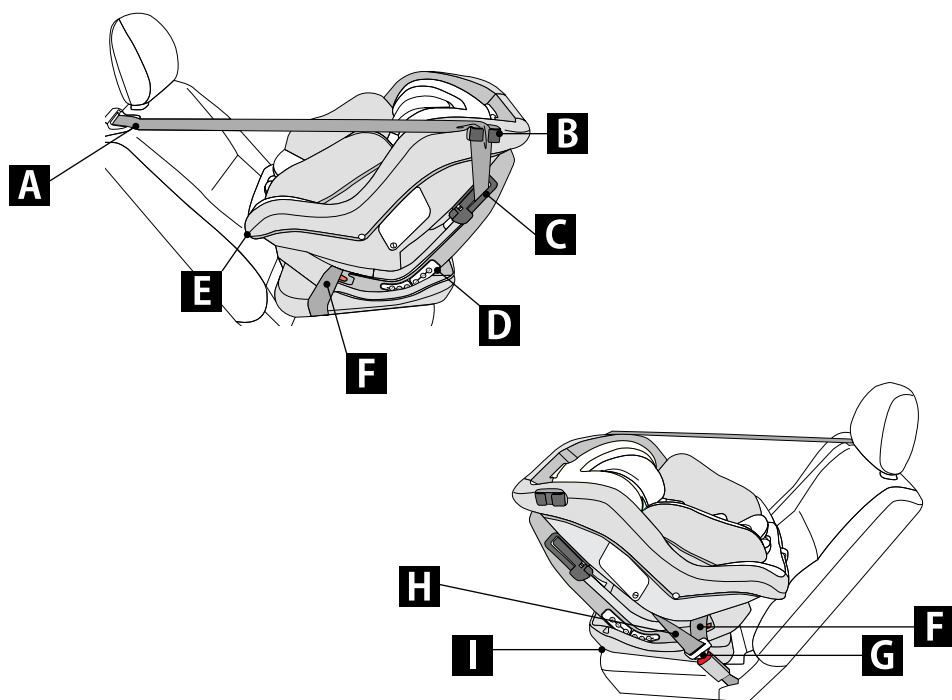


注意

使用中にシートベルトがゆるむことがありますので、こまめに取付けの点検を行い、本製品をしっかり固定してください。

■ 取付け後のチェックリスト

■安全にご使用いただくにあたり、ご使用前に下記項目を確認してください。■



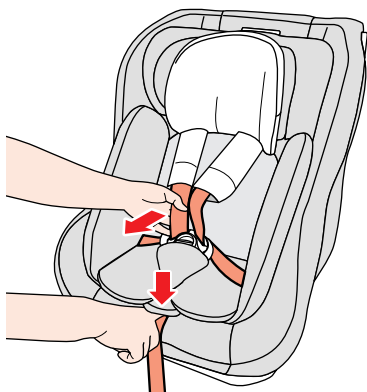
チェックリスト

- ☐ **A** 肩ベルトにねじれ・ゆるみがなく、本製品がしっかり固定されていること。
- ☐ **B** 肩ベルトが肩ベルトガイドに正しく通っていること。
- ☐ **C** ベルトロックに肩ベルトが正しく通っていること。
- ☐ **D** リクライニング角度が後向きに設定されていること。
- ☐ **E** 本製品座面前端部が車両座席背もたれに接していること。
- ☐ **F** 腰ベルトが腰ベルトガイドに正しく通っていること。
- ☐ **G** シートベルトがバックルに正しく差し込まれていること。
- ☐ **H** 腰ベルトねじれ・ゆるみがなく、本製品がしっかり固定されていること。
- ☐ **I** 本製品ベースが車両座席座面に密着していること。

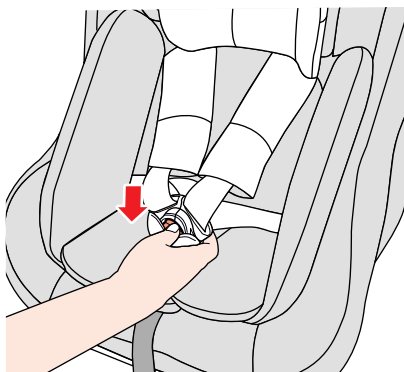
お子さまの乗せかた

①肩ベルトをゆるめてください。

※肩ベルトパッドを引いても、肩ベルトはゆるみません(P17 参照)。



②バックル解除ボタン(赤)を押し、バックルタングを外してください(P16 参照)。

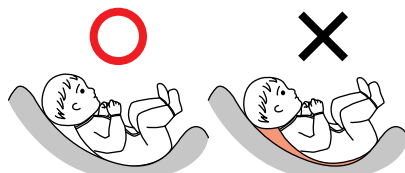


③お子さまを深く座らせて、左右の肩ベルトにお子さまの腕を通してください。



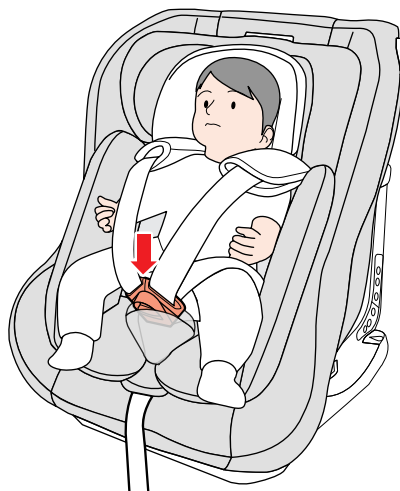
⚠ 警告

お子さまを必ず、正しい姿勢で乗せてください。誤った姿勢で乗せているとお子さまを正しく固定できず、急ブレーキ時や衝突時にお子さまが本製品より飛び出し思わぬ事故につながるおそれがあります。必ず正しい姿勢で乗せてください。



④左右の肩ベルトにねじれないかを確認し、左右のバックルタングを組み合わせ、「カチッ」と音がするまでバックルに差し込んでください。

※肩ベルト・腰ベルトがきつい場合は無理にバックルを差し込まず肩ベルトをゆるめてください。



ポイント バックル解除ボタン(赤)はお子さまの力でも外れないよう安全上、固くしております。

肩ベルトの高さ

警告

肩ベルトの高さ調節をおこなう際、お子さまが肩ベルトで締めつけられるおそれがあります。お子さまを乗せて高さ調節をする際は、肩ベルトにゆとりがあることを確認してから作業をおこなってください(P19 参照)。

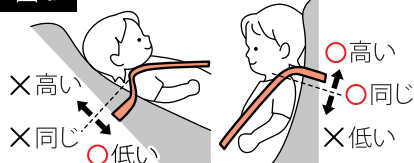
①お子さまを乗せてから、肩ベルトの高さを確認し、調節してください(図 a 参照)。
※調節前に肩ベルトにゆとりがあることを確認してからおこなってください。

警告

進行方向後向きでのご使用時は、お子さまの肩よりも低い位置で使用してください。

※お子さまの肩より高い位置で使用されますと、お子さまが肩ベルトから抜け思わぬ事故につながるおそれがあります。

図 a



注意

お子さまを乗せた状態で肩ベルトの高さ調節をおこなう際は、お子さまの首や頭部に負担がかからないように、優しく、ゆっくりと調節をおこなってください。

肩ベルト・腰ベルトの長さ調節

- ①肩ベルトとお子さまの間に、手のひらが入る程度に長さを調節してください(P17 参照)。

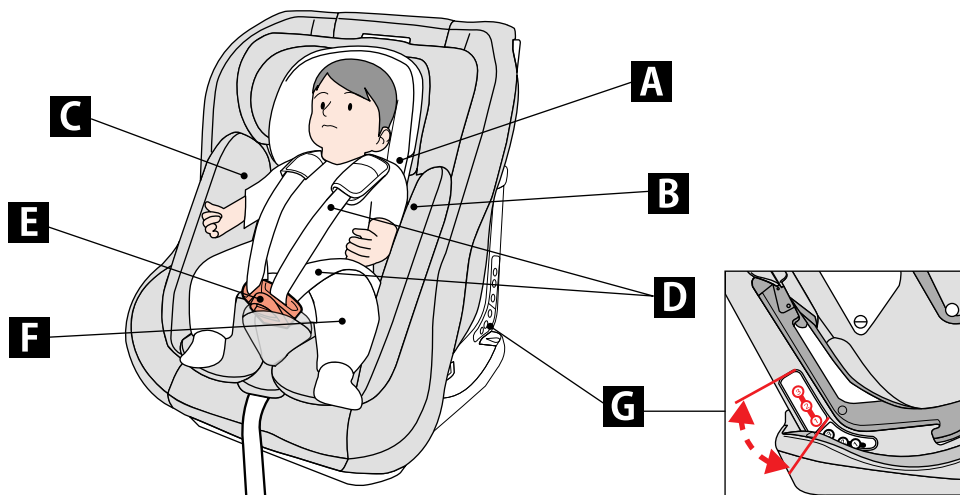


注意

調節ベルトを引っ張る際、肩ベルトが強くなるおそれがあります。勢いよく引っ張らないようにしてください。

■ 走行前のチェックリスト

■安全にご使用いただくにあたり、ご使用前に下記項目を確認してください。■



チェックリスト

- ☐ **A** 肩ベルトが正しい位置に調節されていること。
- ☐ **B** インナークッション・ベビーサポートが正しく取付けられていること。
- ☐ **C** 肩ベルトがお子さまの体にフィットしていること(手のひらが入る程度)。
- ☐ **D** 肩ベルト・腰ベルトにねじれがないこと。
- ☐ **E** 左右のバックルタングが「カチッ」と音がするまでバックルに差し込まれていること。
- ☐ **F** お子さまが正しい位置で座っていること。
- ☐ **G** リクライニング角度が進行方向後向きのポジションになっていること。



危険

肩ベルトはお子さまの肩よりも低い位置で使用してください。お子さまが肩ベルトから抜け思わぬ事故につながるおそれがあります。



警告

身長 76cm 未満のお子さまは、必ず全てのインナークッションを使用してください。



警告

お子さまが座っていない時でも、本製品は必ずシートベルトで固定してください。
※車内に転がって運転の妨げとなり思わぬ事故につながるおそれがあります。

チャイルドシートモード(進行方向前向き)の使用方法「身長 76 ～ 105cm まで」

警告

お子さまの月齢が【15 ヶ月】を超え、尚且つ身長【76cm】以上になってから【進行方向前向き】で使用してください。



動画で解説
チャイルドシートモード
の使用方法

使用条件

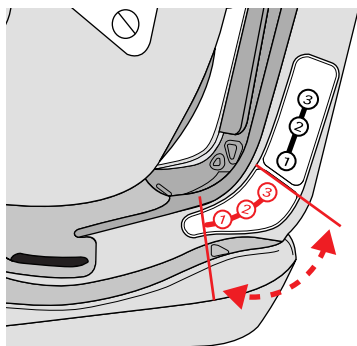
- ・お子さまの身長が 76cm 以上であること。
- ・「全てのインナークッション」は使用しないでください。

取付ける前の準備

- ・リクライニング角度を前向きポジション①～③にしておきます (P14 参照)。

注意

車両座席に取り付けた後にリクライニング角度を調節することはできません。取り付けがゆるみ大変危険です。あらかじめリクライニング角度を調節してください。



警告

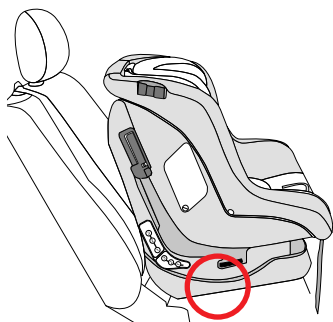
本製品は、必ずお車のシートに取り付けてからお子さまを乗せてください。※お子さまを乗せた状態で、お車に取り付けをしないでください。お子さまが落下し、重大な事故につながるおそれがあります。

警告

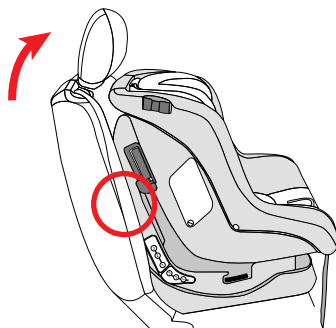
お子さまが座っていない時でも、本製品は必ずシートベルトで固定してください。※車内に転がって運転の妨げとなり思わぬ事故につながるおそれがあります。

チャイルドシートの取付け

①本製品を前向きにして、車両座席の中央に置きます。本製品の底面が車両座席座面に接するようにしてください。

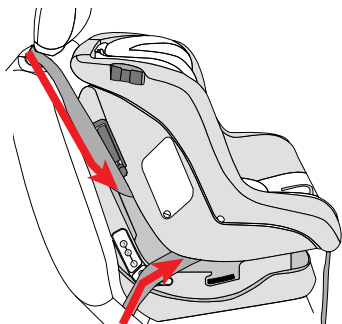


②車両座席背もたれのリクライニングを調節し、本製品背面が密着するようにしてください。



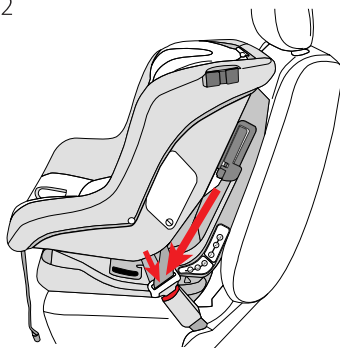
③-1 車両シートベルトを引き出して、本製品背面に通します。

③-1



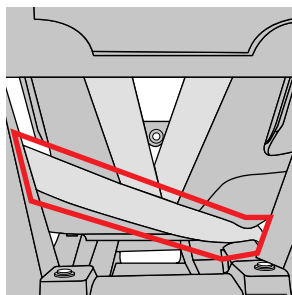
③-2 反対側のバックルに車両シートベルトのタングを差し込みます。

③-2



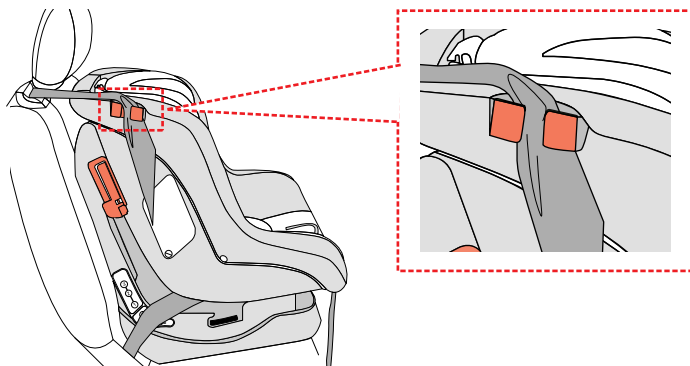
※シートベルトにねじれがない事をご確認ください。

※シートベルトタングが「カチッ」と音がするまで、確実にバックルに差し込んでください。



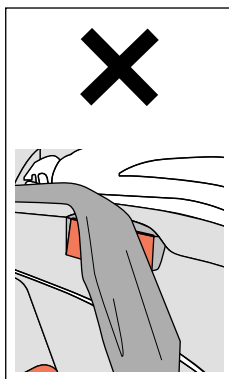
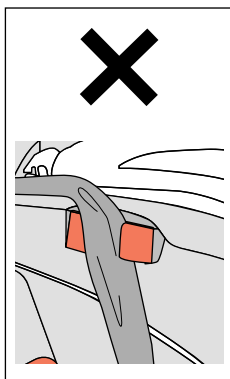
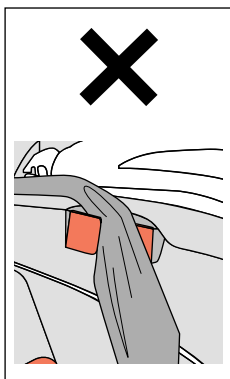
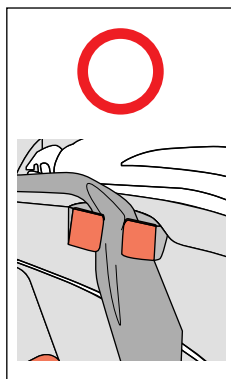
※シートベルトがハーネスの内側を通らないようにしてください。

- ④車両シートベルト巻取り装置側（バックルの反対側）の本製品肩ベルトガイドにシートベルトの肩ベルトを通します。

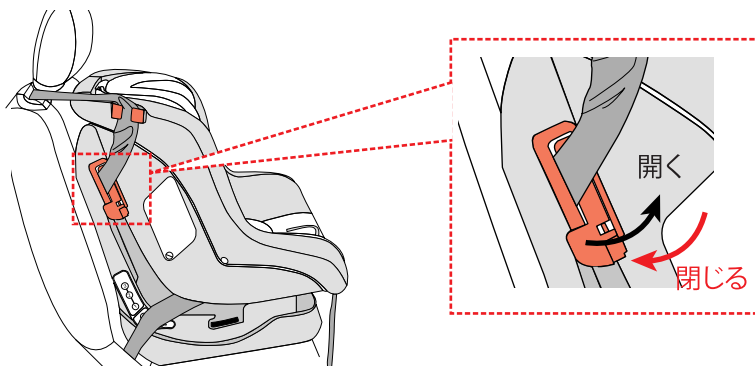


⚠ 危険

肩ベルトガイドにシート肩ベルトを正しく通すこと
肩ベルトガイドに正しくシート肩ベルトが通っていないと事故や衝撃を受けた際に本製品が外れて思わぬ事故につながる恐れがあります。

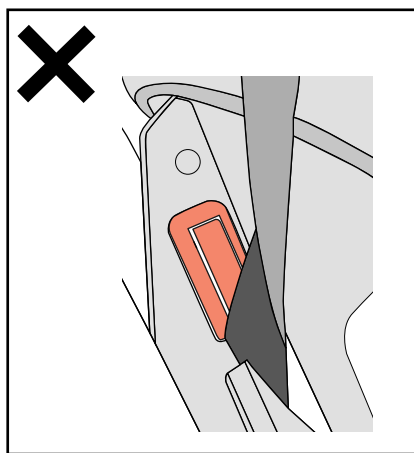
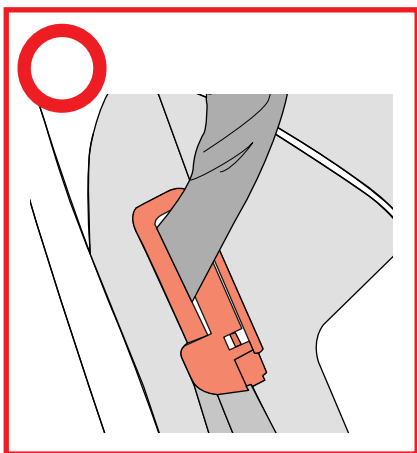


- ⑤肩ベルトを肩ベルトガイドに通した側のベルトロックを開き、肩ベルトを差込み、ベルトロックを閉じます。

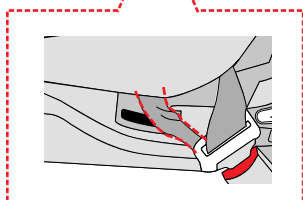
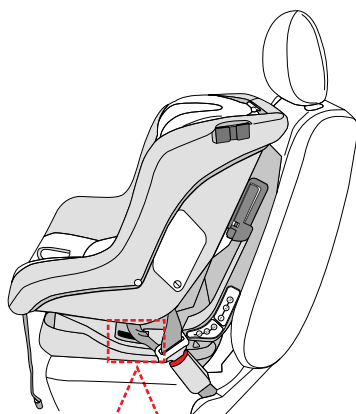
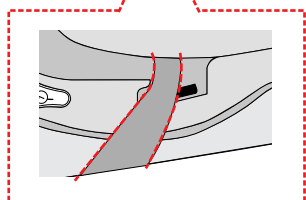
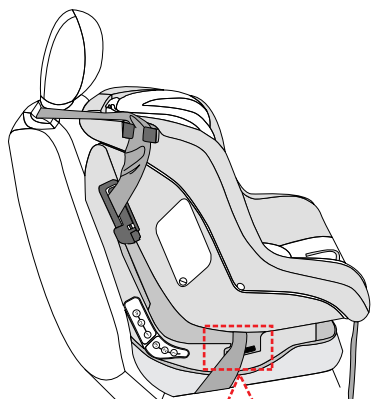


危険

肩ベルトがベルトロックに正しく通っていないと、事故や衝撃を受けた際に肩ベルトが外れて思わぬ事故に繋がるおそれがあります。
確実に肩ベルトがベルトロックを通っていることをご確認ください。

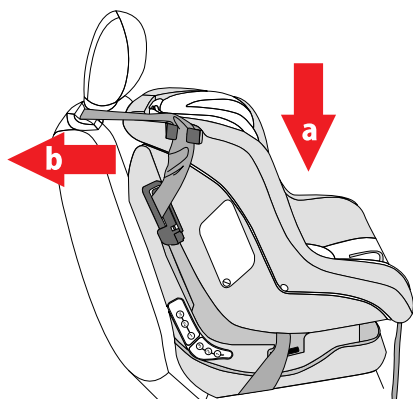


⑥シートベルトの腰ベルトが本製品の腰ベルトガイド（緑）の上を通っていることを確認してください。

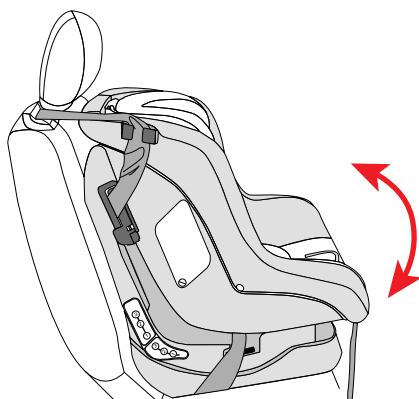


⑦本製品を車両座面方向に強く押し込み (a)、肩ベルトを強く引き締め (b)、本製品を車両座席に固定します。

※ベルトロックが半開きになる場合は、(b)の後、再度ベルトロックを閉じてください。



⑧本製品を軽く揺すり、車両座席にしっかり固定されていることを確認してください。取付けがゆるいと感じた際は、さらに肩ベルトを強く引き締めてください。



警告

本製品を取付けた状態で、車両座席のリクライニングを調節したり、座席を前後に動かさないでください。取付けがゆるむおそれがあります。

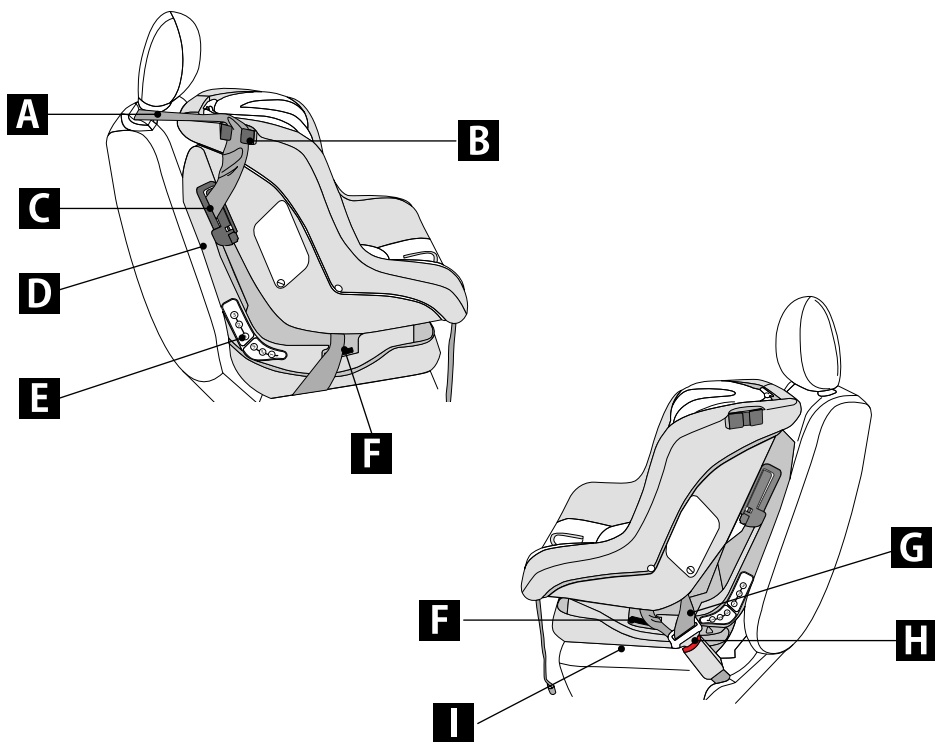


注意

使用中にシートベルトがゆるむことがありますので、こまめに取付けの点検を行い、本製品をしっかり固定してください。

■ 取付け後のチェックリスト

■安全にご使用いただくにあたり、ご使用前に下記項目を確認してください。■



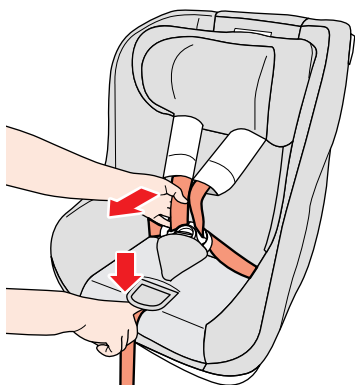
チェックリスト

- ☐ **A** 肩ベルトにねじれ・ゆるみがなく、本製品がしっかり固定されていること。
- ☐ **B** 肩ベルトが肩ベルトガイドに正しく通っていること。
- ☐ **C** ベルトロックに肩ベルトが正しく通っていること。
- ☐ **D** 本製品背もたれ背面部が車両座席背もたれに接していること。
- ☐ **E** リクライニング角度が前向きに設定されていること。
- ☐ **F** 腰ベルトが腰ベルトガイドに正しく通っていること。
- ☐ **G** 腰ベルトにねじれ・ゆるみがなく、本製品がしっかり固定されていること。
- ☐ **H** シートベルトがバックルに正しく差し込まれていること。
- ☐ **I** 本製品ベースが車両座席座面に密着していること。

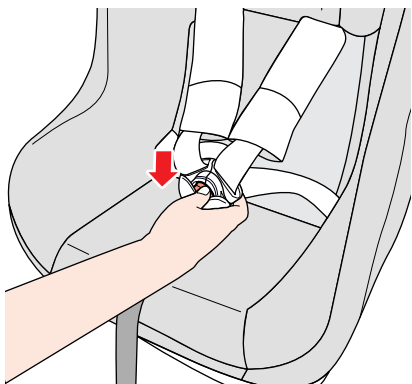
お子さまの乗せかた

①肩ベルトをゆるめてください。

※肩ベルトパッドを引いても、肩ベルトはゆるみません(P17 参照)。



②バックル解除ボタン(赤)を押し、バックルタ
ングを外してください(P16 参照)。



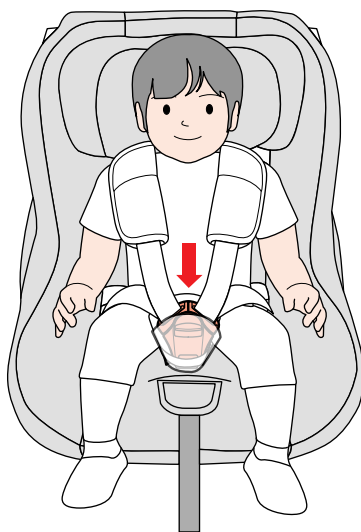
③お子さまを深く座らせて、左右の肩ベルトに
お子さまの腕を通してください。



警告

お子さまを必ず、正しい姿勢で乗せてください。誤った姿勢で乗せているとお子さまを正しく固定できず、急ブレーキ時や衝突時にお子さまが本製品より飛び出し、思わぬ事故につながるおそれがあります。必ず正しい姿勢で乗せてください。

- ④左右の肩ベルトにねじれないかを確認し、左右のバックルタングを組み合わせ、「カチッ」と音がするまでバックルに差し込んでください。
※肩ベルト・腰ベルトがきつい場合は無理にバックルを差し込まず肩ベルトをゆるめてください。



ポイント バックル解除ボタン(赤)はお子さまの力でも外れないよう安全上、固くしております。

肩ベルトの高さ

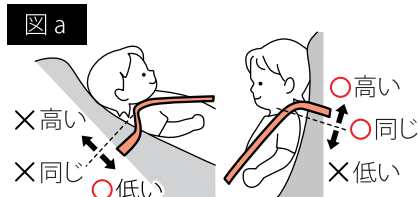
⚠ 警告

肩ベルトの高さ調節をおこなう際、お子さまが肩ベルトで締めつけられるおそれがあります。お子さまを乗せて高さ調節をする際は、肩ベルトにゆとりがあることを確認してから作業をおこなってください(P17 参照)。

- ① お子さまを乗せてから、肩ベルトの高さを確認し、調節してください(図 a 参照)。
※ 調節前に肩ベルトにゆとりがあることを確認してからおこなってください。

⚠ 警告

進行方向後向きでのご使用時は、お子さまの肩よりも低い位置で使用してください。
※ お子さまの肩より高い位置で使用されますと、お子さまが肩ベルトから抜け思わぬ事故につながるおそれがあります。



⚠ 注意

お子さまを乗せた状態で肩ベルトの高さ調節をおこなう際は、お子さまの首や頭部に負担がかからないように、優しく、ゆっくりと調節をおこなってください。

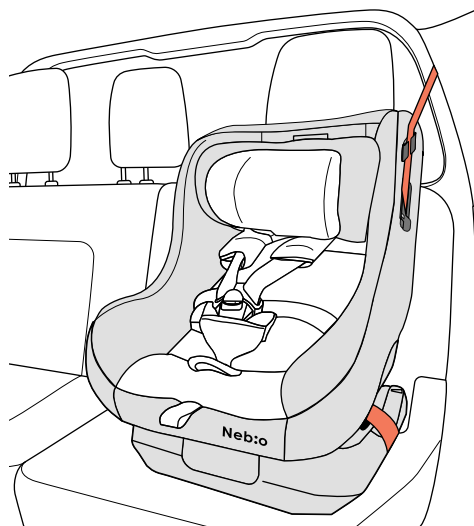
肩ベルト・腰ベルトの長さ調節

- ① 肩ベルトとお子さまの間に、手のひらが入る程度に長さを調節してください(P17 参照)。



⚠ 注意

調節ベルトを引っ張る際、肩ベルトが強くなるおそれがあります。勢いよく引っ張らないようにしてください。

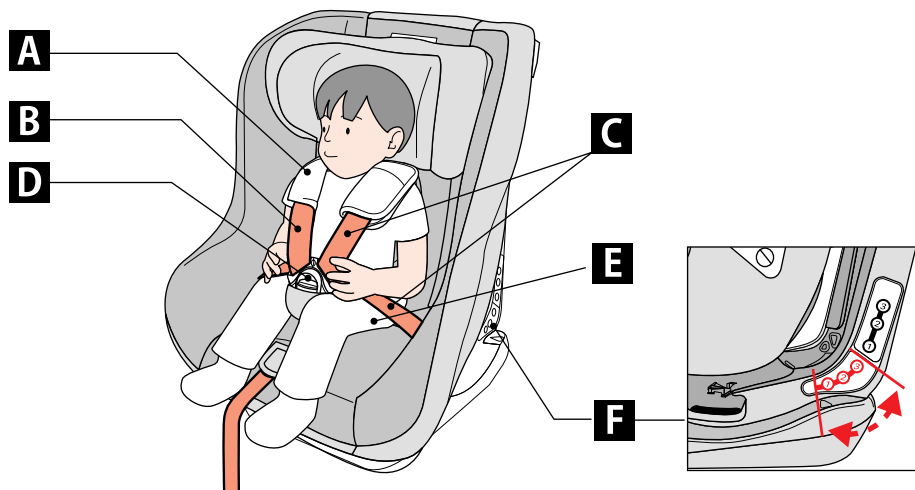


⚠ 警告

お子さまが座っていない時でも、本製品は必ずシートベルトで固定してください。※ 車内に転がって運転の妨げとなり思わぬ事故につながるおそれがあります。

■ 走行前のチェックリスト

■安全にご使用いただくにあたり、ご使用前に下記項目を確認してください。■



チェックリスト

- ☐ **A** 肩ベルトが正しい位置に調節されていること。
- ☐ **B** 肩ベルトがお子さまの体にフィットしていること(手のひらが入る程度)。
- ☐ **C** 肩ベルト・腰ベルトにねじれがないこと。
- ☐ **D** 左右のバックルタングが「カチッ」と音ができるまでバックルに差し込まれていること。
- ☐ **E** お子さまが正しい位置で座っていること。
- ☐ **F** リクライニング角度が進行方向前向きのポジションになっていること。

⚠ 警告

バックル解除ボタン(赤)はお子さまの力でも外れないように、ECE R129/09 の安全基準に則り固めておりますがお子さまが成長すると、自身で外してしまうおそれがあります。バックルは絶対に触ったり外さないよう、注意してください。

⚠ 注意

お子さまを降ろした際、必ずバックルタングはバックルに差し込んだ状態にしてください。

⚠ 危険

肩ベルトはお子さまの肩よりも高いまたは同じ位置で使用してください。お子さまの肩より低い位置でされると、装着時、不快になったり、衝撃時、肩ベルトから抜け思わぬ事故につながるおそれがあります。

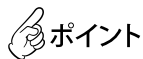
⚠ 警告

インナークッションは使用しないでください。

シートカバーの取外し方法

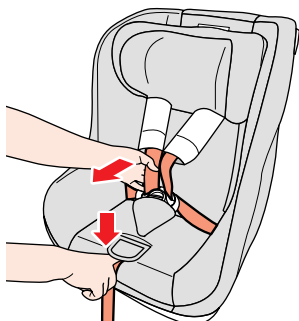


動画で解説
シートカバーの
取外し方法

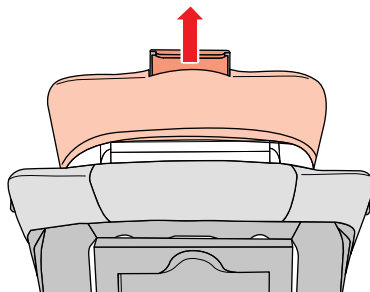


ポイント 全てのインナークッションを取外してから行ってください。

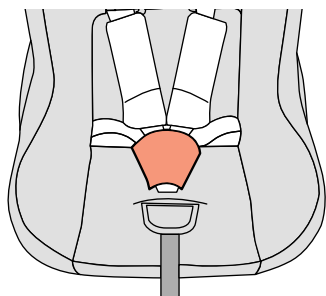
①肩ベルトをゆるめてください。



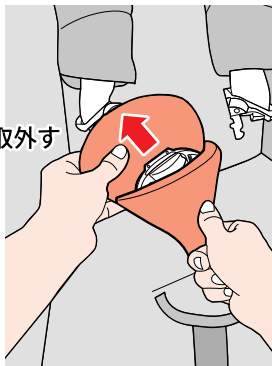
②ヘッドレストを一番高い位置まで引き上げてください。



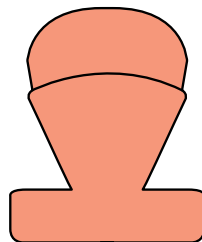
③バックルを解除し、股あてパッドを取外してください。



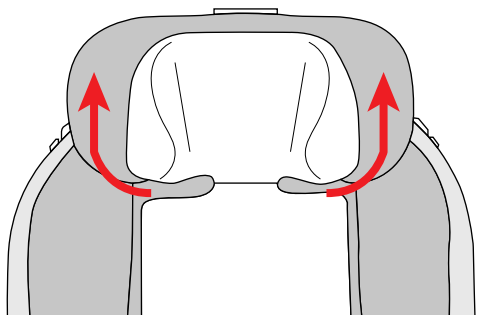
取外す



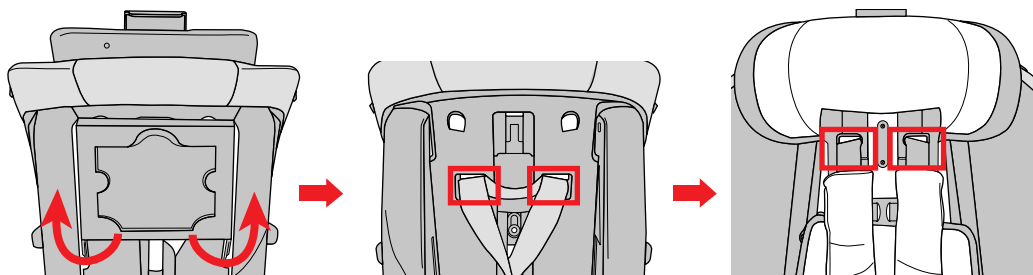
股あてパッド



④ヘッドレスト下側から、ゆっくりカバーを外してください。

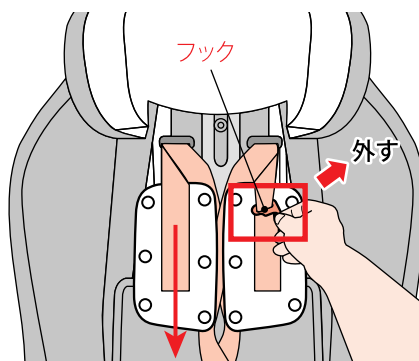
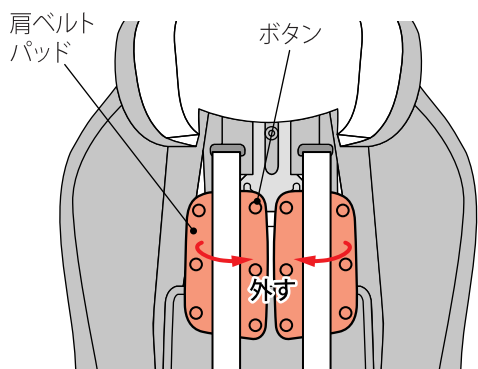


⑤本製品背面のリアカバーを取外します。ヘッドレスト高さを調節し、背面のベルト穴とヘッドレスト下部ベルト穴を合わせます。

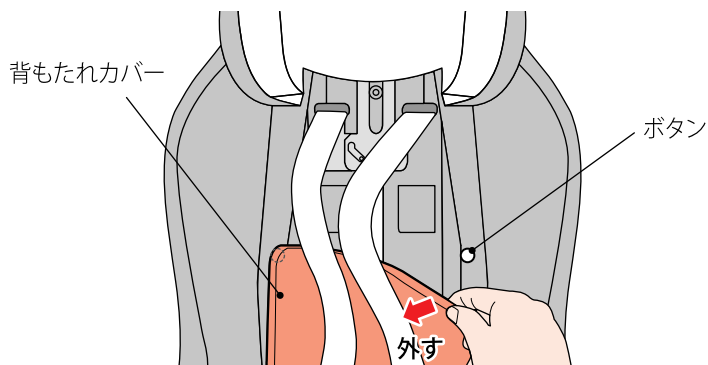


⑥肩ベルトパッドのボタンを外してください。

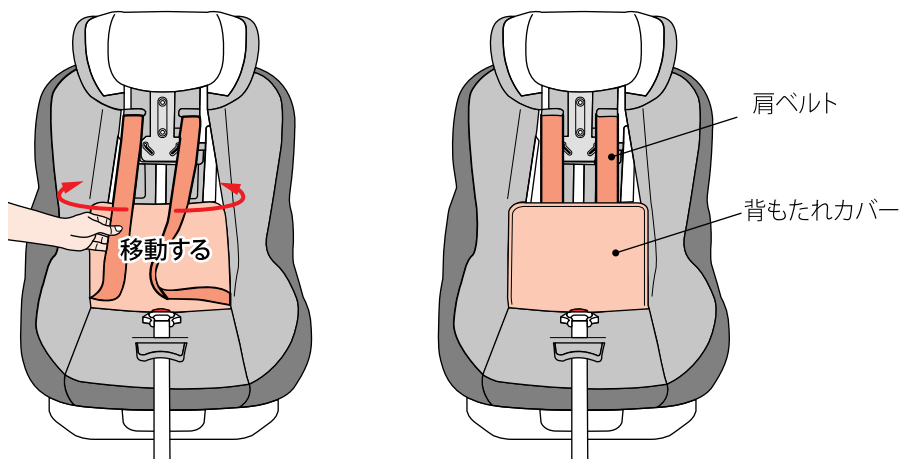
⑦片方の肩ベルトパッドをフックから外し、もう一方を手前に引き抜きます。



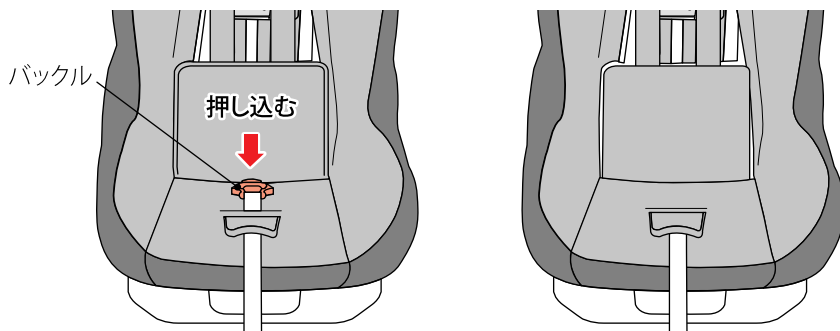
⑧背もたれカバーのボタンを外してください。



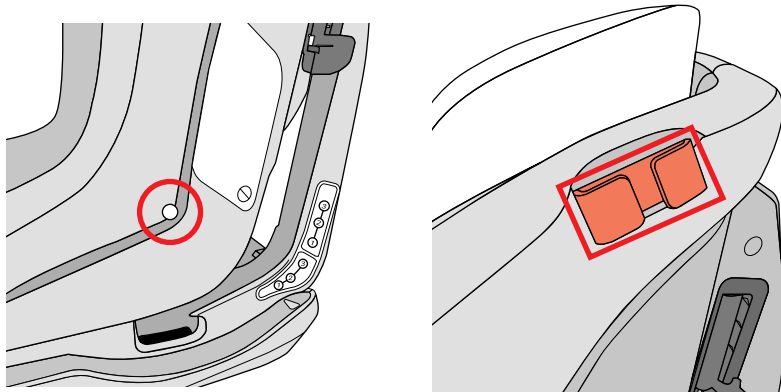
⑨肩ベルトを背もたれカバーの後ろに移動させてください。



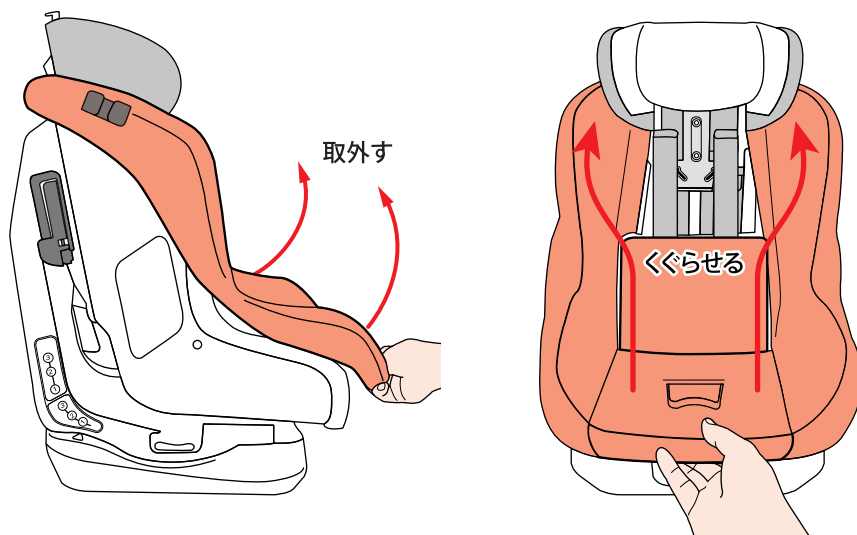
⑩バックルを隙間から下へ押し込んで入れてください。



⑪本体両側のボタンを外し、肩ベルトガイド周辺のカバーをあらかじめ外しておきます。



⑫シート前部から上にゆっくりカバーを取外し、ヘッドレスト部分をくぐらせながら外してください。



警告

カバーを取外す際、無理に引っ張らないでください。カバーが破れる可能性があります。

シートカバーの取付け方法

シートカバーの取付けは、取外しの逆手順になります。



注意

シートカバーを取外した状態で使用しないでください。



 動画で解説
シートカバーの
取付け方法

お手入れ方法

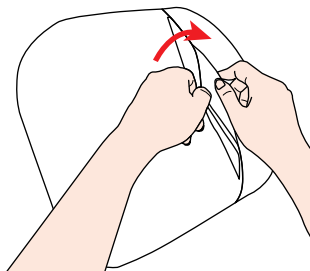
 **ポイント** インナークッションの各部の名称は(インナークッション P15)で確認してください。

ベビーサポート

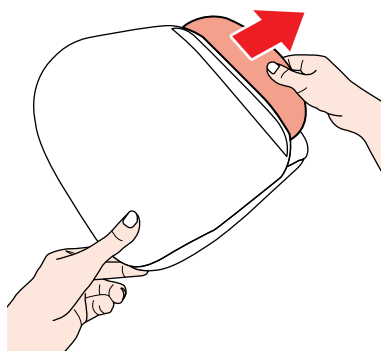


 **動画で解説**
ベビーサポート
のお手入れ

①裏面のファスナーを開けてください。



②クッションを取出してください。



注意

クッションを取出す際は、破れないよう注意してください。

注意

- ・クッションは洗濯できませんので、固く絞った布で汚れを拭き取るようにしてください。
- ・クッションは必ず正しい向きで使用してください。向きが異なると製品所定の安全性能が発揮できないおそれがあります。

洗濯方法

注意

本製品のお手入れは【洗濯機使用不可】です。
カバーが縮む可能性があります。必ず手洗いでお手入れしてください。

カバー部分のみ洗濯可能です(必ずクッションを取出してから洗濯してください)。

- ・ぬるま湯と中性洗剤を使用して、必ず【手洗い】してください。
- ・洗濯後は、乾いた布などで拭き取ってから日陰で平干ししてください。

注意

- ・洗濯機は使用しないでください。
- ・洗濯時は必ずクッションを取出してから洗濯してください。

ヘッドサポートクッション



動画で解説
ヘッドサポート
のお手入れ



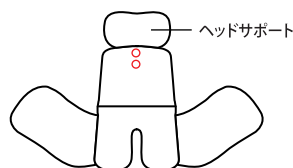
ポイント

インナークッションの各部の名称は(インナークッション P15)で確認してください。



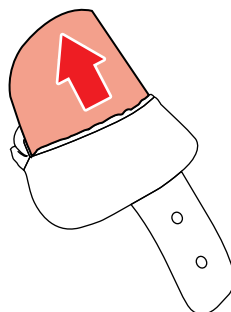
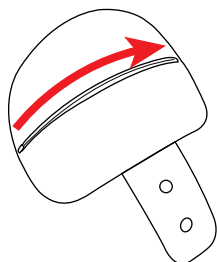
ポイント

ヘッドサポートは背面のボタンで取外し可能です。洗濯時は取外してください。



①裏面のファスナーを開けてください。

②クッションと中敷を取出してください。



注意

- ・クッションを取出す際は、破れないよう注意してください。
- ・中敷を取出す際は、割れないように注意してください。

注意

- ・クッションと中敷は洗濯できませんので、固く絞った布で汚れを拭き取るようにしてください。
- ・クッションと中敷は必ず正しい向きで使用してください。向きが異なると製品所定の安全性能が発揮できないおそれがあります。

洗濯方法

注意

本製品のお手入れは【洗濯機使用不可】です。
カバーが縮む可能性があります。必ず手洗いでお手入れしてください。

カバー部分のみ洗濯可能です(必ずクッションと中敷を取出してから洗濯してください)。

- ・ぬるま湯と中性洗剤を使用して、必ず【手洗い】してください。
- ・洗濯後は、乾いた布などで拭き取ってから日陰で平干ししてください。

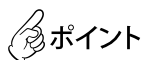
注意

- ・洗濯機は使用しないでください。
- ・洗濯時は必ずクッションと中敷を取出してから洗濯してください。

バックサポート・サイドサポート

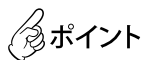


動画で解説
バックサポート
サイドサポート
のお手入れ



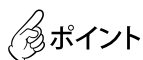
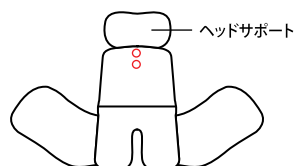
ポイント

インナークッションの各部の名称は(インナークッション P15)で確認してください。



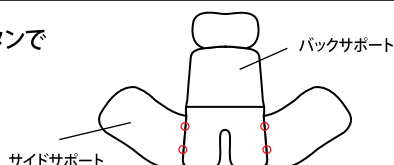
ポイント

ヘッドサポートは背面のボタンで取外し可能です。洗濯時は取外してください。



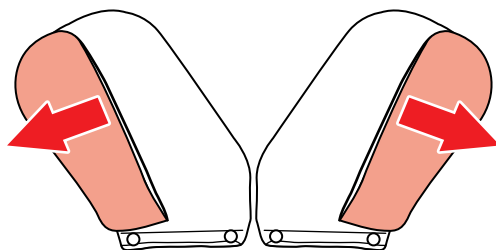
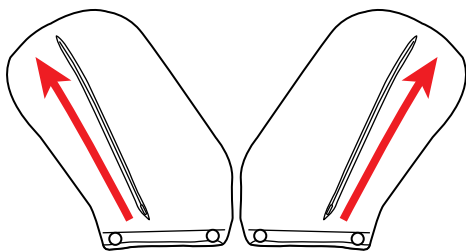
ポイント

バックサポートとサイドサポートは背面のボタンで取外し可能です。洗濯時は取外してください。



①裏面のファスナーを開けてください。

②クッションを取出してください。



注意

クッションを取出す際は、破れないよう注意してください。



注意

- クッションは洗濯できませんので、固く絞った布で汚れを拭き取るようにしてください。
- クッションは必ず正しい向きで使用してください。向きが異なると製品所定の安全性能が発揮できないおそれがあります。

各シートカバーの洗濯方法



注意

本製品のお手入れは【洗濯機使用不可】です。カバーが縮む可能性があります。必ず手洗いでお手入れしてください。

- ・ぬるま湯と中性洗剤を使用して、必ず【手洗い】してください。
- ・洗濯後は、乾いた布などで拭き取ってから日陰で平干ししてください。



手洗い 30℃



漂白 NG



ドライクリーニング NG



タンブラー乾燥 NG



アイロン NG



日陰で平干し



警告

中性洗剤を原液で使用したり、ガソリン・ベンジンなどの有機溶剤は絶対に使用しないでください。本体や、布などを傷めるおそれがあり大変危険です。



注意

カバー内の板は強くもみ洗いをすると破損する可能性があります。洗濯の際は布部分のみ、もみ洗いしてください。

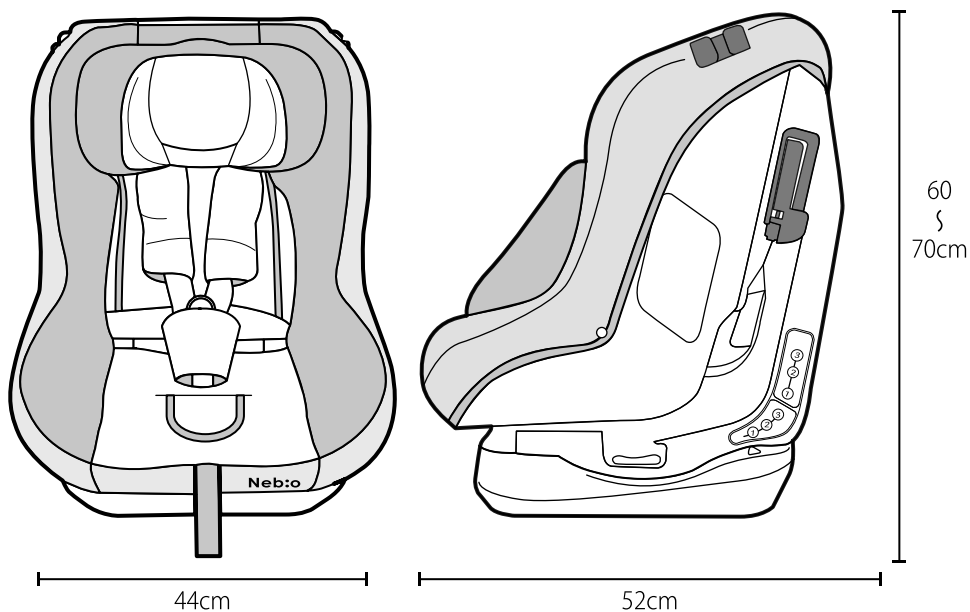
本体

- ・固くしぼった布で水ぶきしてください。
- ・汚れがひどい場合は、中性洗剤を水で薄めた液で汚れを落として、水ぶきしてください。
- ・水ぶきした後は、日陰でしっかりと乾燥させてください。

製品情報

本体サイズ

奥行き：約 52cm
幅：約 44cm
高さ：約 60～70cm



材質

本体：PP(ポリプロピレン)
カバー：PE(ポリエステル)
インナークッション：PU(ポリウレタン)

保管方法

- ・安全で乾いた場所に保管して、熱や直射日光をさけてください。
- ・お子さまの手の届かない場所で保管してください。
- ・本製品に重いものを置かないでください。

廃棄方法

- ・お住まいの各自治体の規定に従い処分、破棄してください。
- ・衝突事故で本製品を落下させるなど、一度でも強い衝撃を受けた場合は、外見上の破損がなくても、絶対に使用しないでください。
- ・再利用による事故を防ぐため、廃棄する際はシートカバーを外してから廃棄してください。